

7
月号

2013 No.114

毎日が発見



きものリフォーム 二通りに使える夏のバッグと帽子

手編みレッスン ラフィア風2ウェイバッグ

●薄毛と白髪 髪の悩みを解決します ●日本式の体づかいでラク介護 ●読者と共に考える「平穏死」

電気に頼らない極上生活

- 電気任せにせず自分で管理を 加藤登紀子
- 電気代は月に500円で楽しく
- 省エネ生活おさらい帳

体质改善 玉ねぎレシピ

今年風 具たくさん そうめん

インタビュー 坂東玉三郎／山田太一

鎌田 實「健康力アップ研究所」
ラジオ体操で元気に美しく

小松成美「森光子伝 女優放浪記」
番外編 森光子一座 記念館を訪ねて

冰川きよし 明治座座長公演速報

毎日が発見

7月号 2013

特集 電気に頼らない極上生活

定価680円(本体648円)

114

購読料金1年(12冊)6,800円(本体6,476円)
(税込)10,000円(本体9,392円)

角川マガジンズ

GOOD DESIGN
AWARD 2012



飲み終えたら、
丸めてコンパクトに。

VIV
ヴィヴ
シリコンボトル
**Silicone
Bottle**

<輸入・発売元>株式会社ワールド・クリエイト 東京都渋谷区南平台町2-17 TEL 03-5457-2900(代)

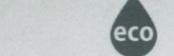
WORLD CREATE <http://www.world-create.co.jp/>



◆電子レンジOK!
~耐熱温度140°C~



◆飲み物を凍らせて持ち運べます。
~耐冷温度-30°C、冷凍庫OK~



◆洗って繰り返し使えます。
~食器洗い乾燥機OK~

◆容量たっぷり510cc! ※満水時

◆スクリューキャップで液漏れせず安心!

平穩死 家族をどう見送りますか

『毎日が発見』3月号に掲載した「平穩死」の記事に寄せられた読者の皆さまの感想や体験談をつづったお手紙を紹介します。

体験者の生の声が、日本の医療を変えていく

医師 長尾和宏 先生



ながお・かずひろ

1958年香川県生まれ。'95年、兵庫県尼崎市に長尾クリニック開業。365日年内無休の外来診療と24時間体制の在宅医療を行う。著書に『平穩死』10の条件』(ブックマン社)『平穩死』という親孝行(泰文堂)ほか。

『毎日が発見』読者の皆さまからのお手紙は、本当にうれしいですね。体験者の生の声は、一番力を持っている。それが世の中を変え、日本の医療のあり方を変えていくと信じています。私は、現在在宅診療の傍ら、全国を回って平穩死についての講演をしていますが、まだまだ

一般には理解されていないと強く感じています。

特に病院に勤務する医師の中には、聞く耳を持たない人も多いんです。大学病院などでは、今も延命治療をやりまくりで、それが縮命治療になってしまっていることに気がついていない。

患者さんの容態を見ながら待つ医療、見守る医療が全然できていない。終末期の方に抗がん剤や高カロリー点滴を使って、苦痛を長引かせるのは犯罪です。私は、患者さんの尊厳のために自分の経験を話しているのに、自然死を見たことがない医師たちからは「そんなことは幻想だ」とか「インチキだ」とか言われてしまいます。

正直無力感を感じることも多いんです。でも、そんなときに励まされるのは、「平穩死でよかったです」というご家族からの声。まだ家族の中でも意見が分かれる場合もありますが、少しずつ平穩死を望む人が増えてきていることを実感しています。ぜひ多くの方に関心を持っていただきたいと思っています。



3月号に掲載した
「平穩死」の記事とは

在宅医療で700人以上を看取った経験のある長尾和宏先生のお話を通し、理想の最期の迎え方である平穩死について紹介しました。長尾先生の患者さんは、家で普通の生活を形で満足して亡くなられる。それに対し、多くのひどい終末期医療を「牢屋より嘆く長尾先生。その記事への感想や体験談を誌面で募集しました。

年を取つても自分らしく悔いなく最期まで生きたい

終末期医療は犯罪と、心より感じています

ような良識ある医師がひとりでも増えることを祈っています。
*お手紙を頂いた後、しばらくして
弟さんは亡くなられたそうです。
ご冥福をお祈りいたします。編集部

家に帰りたがつた主人が
今でも目に浮かびます

長尾先生のようないくつかの手紙

96歳になる認知症の母は、薬の服用をやめて元気に

かく生きてきたんだから、医学の役に立ちたいと献体を申し込みました。子どもたちの承認を得るのに、半年かかりましたが……。

104歳になる母は、「よっぽどでないと病院へは行かん。若い人が少ない給料の中から払っている保険料を使うのは、本当に申し訳ない。自然体がいい」と言います。人それぞれ考えは違うと思いますが、医療が日進月歩の今だからこそ、真剣に考えねばならないと思っています。

長尾先生の素晴らしい考え方を知つて、記事を読みながら感動に感動の連続でした。先生のような常識ある医師が日本中にたくさんおられたら、世の中がよくなり、年を取つても自分らしく悔いなく平穩死できるのにと心から思います。あの世が近くなつてから延命治療など、周囲の者が大変になるばかり、病院がもうかるばかりです。

96歳になる認知症の母が老人ホームに入所して、7~8年になります。私は毎日曜日、娘は頻繁に食事介助に行っていますが、職員の方は皆優しい態度や言葉で接してくださいます。入所時は薬をたくさん服用していく、食欲もなく乱暴なふるまいもありましたが、その後職員の方の判断で薬の服用をやめ、様子を見たところ、信じられないほど体調がよくなりました。今は何も服用していませんが、食事も睡眠も良好です。

今でも目に浮かび、涙ができます。主人の死後、私はすぐ日本尊嚴死協会に入りました。そして、まだ何を増えますよう願っています。先生、どうぞ日本の老人医療のため、後に続く医師を育ててくださいませ。

長尾先生の「平穩死」には、まったく同感です。2歳下の弟が、去年の10月に胃がんの手術後、やっと少し食べられるようになつたとき食道がんが見つかり、1ヶ月待ちでがんセンターに入院。抗がん剤には耐えきれず、放射線のみ1クール終えて転院しました。高カロリー栄養の点滴をしていますが、放射線の後の痛みが続き、ついに狂乱状態になり、あまりのことに嘆き悲しんでおりまます。半年前にこの記事に出会つていればと残念でなりません。

高額な医療費と部屋代を払わされる終末期医療は犯罪と、心より感じています。胃がんの手術の折、何度も検診しながらどうしてわからなかつたのか、疑問に思つて尋ねると「胃と食道は別々だから」の答え。納得がいきません。長尾先生の

柴田結子さん 80歳 熊本県熊本市

小村佐喜子さん 82歳 福岡県糟屋郡

志崎澄江さん 83歳 静岡県三島市

丸野明子さん 65歳 福岡県大牟田市

101 毎日が発見

96歳になる認知症の母が老人ホームに入所して、7~8年になります。私は毎日曜日、娘は頻繁に食事介助に行っていますが、職員の方は皆優しい態度や言葉で接してくださいます。入所時は薬をたくさん服用していく、食欲もなく乱暴なふるまいもありましたが、その後職員の方の判断で薬の服用をやめ、様子を見たところ、信じられないほど体調がよくなりました。今は何も服用していませんが、食事も睡眠も良好です。

私は65歳ですが、長尾先生の近くに引つ越して、かかりつけの先生になつていただきたい気持ちです。

長尾先生の「平穩死」には、まったく同感です。2歳下の弟が、去年の10月に胃がんの手術後、やっと少し食べられるようになつたとき食道がんが見つかり、1ヶ月待ちでがんセンターに入院。抗がん剤には耐えきれず、放射線のみ1クール終えて転院しました。高カロリー栄養の点滴をしていますが、放射線の後の痛みが続き、ついに狂乱状態になり、あまりのことに嘆き悲しんでおりまます。半年前にこの記事に出会つていればと残念でなりません。

高額な医療費と部屋代を払わされる終末期医療は犯罪と、心より感じています。胃がんの手術の折、何度も検診しながらどうしてわからなかつたのか、疑問に思つて尋ねると「胃と食道は別々だから」の答え。納得がいきません。長尾先生の

